琉球大学学術リポジトリ

日米関係（沖縄返還）10

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 公開日: 2019-02-13 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: - メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/20.500.12000/43785

(メモ)
ページ数からは
数字が

一般情報　44. 11. 8 (No256)

③ サトウ総理外人記者会見（7日官ていにて）

（問）　オキナワ交渉ではどの点がまだ未解決で、総理訪米の時まで持ち越されそうか。

（答）　すべての点がまだ未解決である。事務レベルでかたづく点もあるが、最終的にはトップレベルで決る。

（問）　アジアの国には日本からの経済援助の増大を希望している国もあるが、今後は援助を増大するつもりか。

（答）　最近の日本の対外援助は目に見えて増えていると思う。せのびをするつもりはないが、日本が果すべき義務は果たして来たと思う。GNPで自由世界第2位ということだけで、日本の援助における責任をランクするのはよくないと思う。それでも日本は世界で4番目の援助国である。

（問）　ペード決議案可決はオキナワをめぐる話し合いを複雑化すると思うか。

（答）　この決議案についてはよく解らないが、心配はしている。しかし、この決議案はオキナワ交渉そのものについてはそれ程大きな影響はないと思う。

（問）　核防条約調印問題はオキナワ交渉に関係しているか。

（答）　この両問題は本来からむものではない。日本は非核三原則をとつているが、これを維持するのは日本だけの問題だが、多数国間条約に加入すれば日本だけの問題ではなくなるので、調印問題はしん重に考えなければならない。

（問）　共同声明で核の問題をぼかした場合に国内の反対派を乗り切れるか。

（答）　私はこの点については心配していない。オキナワ

の本土なみ返かんは本土と区別されないオキナワのことである。

（問） 米国務省にはオキナワの本土なみ返かんが基地の自由使用を制限することを心配して反対している人もいる。

オキナワの本土なみ返かんが実現した場合に、アジアにおける日本の安全を維持できると思うか。

（答） これが大変な問題で、このために私が米国に行かなればならないのであるが、話しをすれば米側に理解してもらえると思う。

（問） 訪米の最低限度の成果としては何をお考えか。

（答） オキナワ返かんの時期を明確にし、本土なみと核ぬきについてＡＧＲＥＥしたい。

（問） １９７２年が返かん時期なのか。

（答） そういわれているし、それが実現すれば大変結構なことだと思う。

（問） １９７２年にも米軍が南ベトナムに駐在していると考えられるが、その場合に米国はオキナワの空軍基地を自由に使用できるか。

（答） 前提が前提だけに。。。万が一の場合には、返かん後の米軍基地が果している軍事的役割を弱めたくない。もしオキナワ返かんが極東に大きな変化を及ぼすようなら

ば、米国は最初から返かんを考えないであろう。とにかく、この問題は話し合いによつて解決されると思う。

（問） オキナワ返かんのために米側に何か貿易上の譲歩をしなければならないのではないか。

（答） 貿易とオキナワをからました話しはなく、経済問題は経済問題として話し合う。経済問題については長い目で見た場合長い付き合いなので、よきＰＡＲＴＮＥＲとして時間をかけて話し合わなければならない。

（問） オキナワ返かん後は北方領土問題といわれているが、今のところソ連からこれについて何か反応があるか。

（答） 新しいやり方はないが、日本こ来の領土を主張しつづける。

秘 まで

~~大臣~~	アメリカ局長
大臣秘書官	参事官
事務次官	北米オ一課長
外務審議官	北米オ二課長
~~外務審議官~~	安全保障課長

佐藤総理 ~~[illegible]~~ 外人記者会見

日時：昭和44年11月7日
場所：総理官邸
出席者：別紙

(ツッチ)：総理は訪米を楽しみにしておられるか。

(総理) 私は ~~訪米を非常に楽しみにしており~~，私人として或いは副大統として6回も来日したことのあるニクソン大統領にお会いすること~~に大きな期待~~を非常に楽しみにしている。をかけている。

(ロデリック) 沖縄交渉ではどの点がまだ未解決で，総理訪米の時まで持ち越されそうか。

(総理) すべての点がまだ未解決である。事務レベルで片づく点もあるが，最終的にはトップレベルで決る。~~ので~~

~~ある。~~

(ペパー) レストンと云う著名な ~~[illegible]~~ ニューヨークタイムズ の記者が，欧州の~~[illegible]~~指導者が日本はアジアにおける米国の孤立主義を心配しているという趣旨の記事を書いていたが，これについて何かご意見があるか。

(総理) 米国の孤立主義は考えられ

ないと思う。グワム島宣言では孤立主義について何も云っていないし、11月3日の演説でも別に触れていない。

（クライスラー）ポストベトナムの日本のアジアにおける経済的、軍事的、政治的地位はどうあるべきかとお考えですか。

（総理）新憲法のもとで日本の進む方向は決ってゐる。軍事的には何もできず、この点については問題がない。経済方面では、ベトナム平和が早く実現するよう、今後も努力を続けたい。平和が実現し、平和維持のために

監視機構でも設けようと云うならば、軍事的には手助けできない。（これに消極的なるに吝かではない。しかし）が、監視には協力したい。ベトナムの経済的再建のため、多数国間協力における一員としての役割を果したい。（これには可能な範囲で協力する。）

（シハヌク）アジアの国には日本からの経済援助の増大を希望している国もあるが、今後は援助を増大するつもりか。

（総理）最近の日本の対外援助は目に見えて増えていると思う。背伸びをするつもりはないが、日本が果すべき義務は果たして来たと思う。GNPでは自由世界第2位であるが、人口当り所得では20位であり、GNP

でも1位と2位の差が開き過ぎており、GNPで2位と云うことだけで日本の援助における責任をランクするのは適当ではないと思う。それでも日本は世界で4番目の援助国である。

(ハートレー)バード決議案可決は沖縄をめぐる話し合いを複雑化すると思うか。

(総理)この決議案についてはよく解らないが、心配は[illegible]している。

しかし、この決議案は沖縄交渉そのものについてはそれ程大きな影響はないと思うし、そう願っている。

(シャノン)沖縄の資産問題は

お金で解決するのか、それとも貿易面で解決するのか。

(総理)今の段階では資料を調査、研究中としか云えない。

(ゴールド)核防条約調印問題は沖縄交渉に関係しているか。

(総理)この問題は沖縄交渉とからむべき性質のものではない。日本は非核三原則を守っており、これを維持するのは日本だけの問題だが、多数国間条約に加入すれば日本だけの問題ではなくなるので、調印問題は慎重に考えなければならない。

(クリッチャー)沖縄交渉の成り行きは総理の政治的将来をどれ

だけ左右するのか。

(総理) 私は沖縄交渉に私の政治生命をかけている。

(ペパー) 共同声明で核の問題をぼかした場合に国内の反対派を乗り切れるか。

(総理) 私はこの点については心配していない。沖縄が本土並み返還は本土が沖縄並みになるのではなく沖縄になるのであって本土と区別されない沖縄のことである。

(ロデリック) 米国防省には沖縄の本土並み返還は基地の自由使用を緊急の際の同地の基地の有用性を減ずることになるとして制限することになるとして心配して反対している人もいる。

沖縄の本土並み返還が実現した場合に、アジアにおける日本の安全を維持できるものと思うか。

(総理) これが大変な問題で、このために私が米国に行かなければならないのであるが、話しをすれば米側に理解してもらえると思う。

(シィオフィ) 沖縄返還されるのは核抜きで(devoid)で核抜きを意味するか。

(総理)

核があるかないかをはっきりいうことがいいかどうか。

~~科学技術の進歩~~

世界唯一の被爆国と云う日本の特殊な事情にもかかわらず、科学技術の

進歩のために核に対する考え方も変ると思う。~~核の持つ戦力のため~~

~~に~~核がなければ戦争抑止力になり、核がないことは~~抑止力がないこと~~防衛にとって

がはっきりすれば攻撃し易くなるということがいえるのではないか。

~~弱味である。~~

(クリッシャー) 訪米の最小限度の成果としては何をお考えか。

(総理) 沖縄返還の時期を~~明確に~~決定することだ。

~~しない~~時期本土並みと核抜きについて言えなかったはそれに起因することはない。~~agree~~したい。~~返還時期が~~

~~何年か先にあり~~、返還を混乱なしにスムースに実現するための準備期間

には返還までに

が必要である。

(リッチ) このスムースな返還のため

には何年が必要か。

(総理) これは私からのみよりも~~云うよりも~~、米大統

時期の方が問題である。

領が約束できる~~期間と云うべきであ~~でも

~~ろう。~~この前の共同声明では"両三年"

と述べたが、これは次の大統領の任期のことについて~~期間については当時の大統領が存在職している~~

まで決めることはできないとの考えからそうなった。

~~とは限らないと云う~~ず、責任をとれない場合があるからであった。

(オカ) 1972年が返還時期なのか。

(総理) そう云われているし、それが実現すれば大変結構なことだと思う。

(クリッシャー) 憲法では軍事力を制限されているが、産業力の増大と共に防衛力も拡~~光する~~充すべきのではないか。

(総理) 産業界には強い意見をもっている人もいるが，私は憲法改正を考えていない。

(ハリソン) 1972年においても米軍が南ベトナムに~~駐在して~~いると考えられるが，その場合に~~沖~~米国は沖縄の空軍基地を自由に使用できるか。

(総理) 2年ぐらいのことだから――。~~前提が前提だけに~~

万が1の(減年が低いっている)場合には，返還後の米軍基地が果している軍事的役割を弱め~~たく~~(るくとは)(考えたく)ない。もし沖縄返還が極東に大きな変化を及すようならば，米国は最初から返還を考えないであろう。とにかく，この問題は話し合いによって解決されると

思う。

(シャノン) 沖縄返還のために米側に何か貿易上の譲歩をしなければならないのではないか。ジョンソン次官補も何かそのような趣旨の発言をしていたと思うが。

(総理) 貿易と沖縄をからました話しはない。~~ないと思う。~~ ⇐ 経済問題は経済問題として話し合う。経済問題については~~長い目で見た場合長い付き合いなので~~，よき partner として時間をかけて話し合わなければならない。(せば理解し合えると思う。)

(リッチ) ワシントンではどの問題を先に話すのか。

(総理) 事務レベルでの予定では沖縄を

off the record

off record

一番最初に。

(クライスラー) 今後の日本の防衛において安保条約が第2次的になり、自衛隊が第1次的になると思うか。海上自衛隊強化の話しを色々と耳にするが。

いう考え方があるがどう

(総理) 自分の国は自分で守ると云う気概をもつことと、これを実現する機能を持つこととは別である。~~日本の国力から云って~~

私は、日本国民が

て欲しいということを常々云っている。しかし

~~核を持つこともなく、核がなければ現在は防衛ができない。攻撃的兵器を~~

日本の憲法は日本が

持つことを禁じていると考えられている。

~~憲法で禁じられて~~ ある。これから強化を必要とするのは海上自衛隊と航空自衛隊ではないかと思う。他国に自国の防衛を依存したくないと云う~~国もあろうが~~、

ドゴールは、

の大統領のポケットの鍵に

つたが

私は~~これに賛成できず~~、集団安全保障により、~~日本を防衛守りたく~~、米国の核の傘にたよることは恥でないと思う。

(ハートレー) 沖縄返還後は北方領土問題と云われているが、~~今の所~~ソ連は~~から~~これについて~~何か反応があるか。~~

機到さんないという態度だが、新しいアプローチ方法があるか。

(総理) 新しいやり方はないが、日本古来の領土であり、外国に主張し続ける。昨日、見学した内閣文庫で150年前のロシア製の地図が陳列してあったが、これによると歯舞、シコタン、クナシリ、エトロフ諸島は日本領になっていたので、これをソ連側に見せたいと思う。

(オカ) 松江での~~[illegible]~~演説では、総理はアジアの安定のために米国の側面的協力と共に日本が main role を果すと云われたが、それは何を意味するのか。

(総理) 自分の国は自分で守ると云う気概

と同様にアジアもアジア以外の国にあまり世話にならない方がいいと思うし、

アジアの一員でアジア第1の工業国である日本がアジア諸国の自助を助けることが必要であると思う。そういう姿勢をとれば、~~そしてこれをやりとげるに~~米国や豪州からも協力を得られると思う。アジアの自助努力のためには、関係国で会議をする必要もあろう。~~自助の精神はお互いの話し合いによって養成されるが、~~米国に大変な負担をかけ、~~ろくに感謝しない被捨助国については、~~~~ については日本は米国と同様に不愉快に~~ 米国ならずとも日本としても不愉快である。

思っている。

(問) ニクソン大統領はポーチーミンに書簡を送ったが、総理もそのようなことをしたか。

(総理) 書簡を送ったことはないが、ベトナム和平実現のため北越と接触のある~~[illegible]~~大使に働きかけをするよう訓令したことがあるし、今後も機会があればそうするつもりである。

秘
無期限

佐藤総理大臣の在日米国主要報道機関に対するバック・グラウンド・ブリーフィングへの参加者（確定版）

44.1.5
外務省情報文化局

社名	出席記者	備考
ABC (American Broadcasting Company)	ルイス・シィオフィ (Louis Cioffi)	本年10月より新任 ※ニューヨークに本社をもつ米国の三大TV・ラジオ放送網（ABC、CBS、NBC）の1つ。
A.P.通信社 (Associated Press)	ジョン・ローデリック (John Roderick)	元プレス・クラブ会長 1959年1月より在京特派員
ボルチモア・サン (Baltimore Sun)	トーマス・ペッパー (Thomas Pepper)	昨年9月より新任
ロスアンゼルス・タイムズ (Los Angeles Times)	ドナルド・シャノン (Donald Shannon)	1967年秋、総理の東南アジア第2次歴訪の際同行。1966年9月より在京特派員。
ミューチュアル・ブロードカスティングシステム (Mutual Broadcasting System)	ローランド・ゴールド (Rowland Gould)	本年6月より新任。※本社ニューヨーク。米国東部を中心とするラジオ放送網
NBC (National Broadcasting Company)	ジョン・リッチ (John Rich)	1967年秋、総理の東南アジア第2次歴訪の際同行。1962年9月より在京特派員。※ニューヨークに本社をもつ米国の三大TV、ラジオ放送網（ABC、CBS、NBC）の1つ。
ニューズ・ウィーク (Newsweek)	バーナード・クリッシャー (Bernard Krisher)	1967年秋、総理の東南アジア第1次歴訪の際同行。1962年9月より在京特派員。
ニューヨーク・タイムズ (New York Times)	タカシ・オカ (Takashi Oka)	今次、総理訪米に同行。日系米国市民。本年1月より新任。
タイム・ライフ・インターナショナル (Time-Life International)	トシオ・イワマ (Toshio Iwama)	支局長 Edwin Reingold が出張不在のため、支局長代理イワマが出席。同人は、カナダ生まれ。1949年タイム・ライフ・インターナショナルに入社。
U.P.I通信社 (United Press International)	レオン・ダニエル (Leon Daniel)	1956年UPI入社。1967年4月より在京特派員。
U.S.ニューズ・アンド・ワールド・リポート (U.S. News & World Report)	ケネス・クライスラー (Kenneth Chrysler)	1965年5月より在京特派員。※本社ワシントン。タイム・ニューズウィークとならぶ米国有力週刊雑誌。発行部数125万部。

ウォール・ストリート・ジャーナル (Wall Street Journal)	ウィリアム・ハートレイ (William Hartley)	昨年11月より新任 ※ニューヨークに本社をもつ有力財界紙、その見解は、全米実業界に速に浸透する。
ワシントン・ポスト (Washington Post)	セリグ・ハリソン (Selig Harrison)	昨年11月、総理に単独会見した。昨年9月より在京特派員。

なお上記、記者の他に Chicago Tribune の Samuel Jameson, Christian Science Monitor の David Willis, CBS の George Syvertsen の3記者も招請したが、いずれも海外出張中であり、代替者なきため、これら3社からは出席者なし。

[redacted]

アメリカ局長
参事官
北米オー課長

情報文化局長
山中参事官
報道課長

秘

○局長主席の予定

総理による主要米国記者への
Background briefing について

報道課

1. 日時
11月7日 午後3時半～4時半

2. 場所
総理官邸

3. 通訳
真崎参与

4. 招請する米国記者
別紙リスト（情文局において各々の影響力に重点をおいて select した）のとおりとするが、招請されない記者から claim を生じた場合には、「諸般の事情により人数の制限が必要であったため、情文局において局長会見の出席率を中心として select した」旨の応答ぶりとする。

ロフト中会議へ

GA-6

回覧番号 外務省
情道 10292

[redacted]

佐藤総理による米国主要報道機関
に対するバック・グラウンド・ブリーフィング
（招請記者名簿）

社名	氏名	備考
ABC ニュース (ABC News)	ロジャー・ピーターソン (Roger Peterson)	昨年1月より新任
AP 通信社 (Associated Press)	ジョン・ローデリック (John Roderick)	元プレス・クラブ会長 1959年1月より在京特派員
ボルチモア・サン (Baltimore Sun)	トーマス・ペッパー (Thomas Pepper)	昨年9月より新任
CBS ニュース (CBS News)	ジョージ・シバーツェン (George Syvertsen)	昨年11月より新任
シカゴ・トリビューン (Chicago Tribune)	サミュエル・ジェームソン (Samuel Jameson)	昨年7月、総理の九州遊説の際同行。1960年11月より在京特派員。
クリスチャン・サイエンス・モニター (Christian Science Monitor)	ディビド・ウィリス (David Willis)	本年1月より新任

GA-5

外務省

ロスアンゼルス・タイムズ (Los Angeles Times)	ドナルド・シャノン (Donald Shannon)	1967年秋、総理の東南アジア第2次歴訪の際同行。1966年9月より在京特派員
ミューチュアル・ブロードカスティング・システム (Mutual Broadcasting System)	ローランド・ゴールド (Rowland Gould)	本年6月より新任
NBC	ジョン・リッチ (John Rich)	1967年秋、総理の東南アジア第2次歴訪の際同行。1962年9月より在京特派員
ニューズ・ウィーク (Newsweek)	バーナード・クリッシャー (Bernard Kisher)	1967年秋、総理の東南アジア第1次歴訪の際同行。1962年9月より在京特派員
ニューヨーク・タイムズ (New York Times)	タカシ・オカ (Takashi Oka)	今次、総理訪米に同行。日系米国市民。本年1月より新任
タイム・ライフ・インターナショナル (Time-Life International)	エドウィン・ラインゴールド (Edwin Reingold)	本年3月より新任
U.P.I.通信 (United Press International)	アルバート・カフ (Albert Kaff)	元プレス・クラブ会長 1964年6月より在京特派員
U.S.ニュース・アンド・ワールド・リポート (U.S. News & World Report)	ケネス・クライスラー (Kenneth Chrysler)	1965年5月より在京特派員
ワシントン・ポスト (Washington Post)	セリグ・ハリソン (Selig Harrison)	昨年11月、総理に単独会見した。昨年9月より在京特派員

ウォール・ストリート・ジャーナル (Wall Street Journal)	ウィリアム・ハートレイ (William Hartley)	昨年11月より新任
		以上 16名

M150 ◎健全な日米協力関係を保つ

(四)

〃苗畑・米人記者と懇談〃

佐藤苗畑は七日午後苗相官邸で、在日米国記者十三人と約一時間にわたって懇談した。苗相はこのなかで米上院の「沖縄返還協定は上院の承認が必要である」との決議について「これによってニクソン大統領との返還交渉がむずかしくなるとは思わないし、またそうならぬよう願っている」と述べたほか、次のように語った。

一、沖縄返還交渉では、貿易面で日本が譲歩するなど経済問題をからませることは考えない。大切なのは日米両国が健全な協力関係を長く保っていくことであり、返還交渉にあたってもこの態度を貫きたい。

一、ベトナム和平の達成には、わが国はあくまで経済面で協力するが、ポスト・ベトナムにおいて平和監視機構のようなものができれば、積極的に参加したい。

一、産業人の中には、自主防衛論を積極的に唱える向きもあるが、私の内閣では憲法を改正して、世界におけるわが国の軍事的役割りを向上させようなどとは全く考えていない。

(3)

AP264

U R G E N T

SATO-OKINAWA

BY JOHN RODERICK

TOKYO, NOV. 7 (AP)-JAPANESE PRIME MINISTER EISAKU SATO INDICATED FRIDAY THAT IF THE VIETNAM WAR CONTINUES BEYOND THE REVERSION OF OKINAWA--EXPECTED IN 1972--THE ISLAND BASE COULD CONTINUE TO PLAY A MAJOR SUPPORT ROLE IN THE CONFLICT.

SATO WILL BEGIN TALKS NOV. 19 IN WASHINGTON WITH PRESIDENT NIXON ON THE RETURN OF OKINAWA, GOVERNED BY THE UNITED STATES SINCE 1945, TO JAPAN, AND THE STATUS AFTERWARD OF THE ISLAND'S HUGE U.S. MILITARY BASES.

SPEAKING TO 14 AMERICAN CORRESPONDENTS AT HIS OFFICIAL RESIDENCE, SATO SAID HE IS CONFIDENT HE AND NIXON CAN "SETTLE TO THE SATISFACTION OF BOTH PARTIES" THE QUESTION OF HOW OKINAWA CAN REMAIN THE KEYSTONE TO THE AMERICAN SECURITY SYSTEM IN THE WESTERN PACIFIC. HE CALLED THIS "THE CRUX OF THE WHOLE ISSUE."

SATO SAID HIS MINIMUM OBJECTIVE IN HIS TALKS WITH NIXON IS TO NAIL DOWN THE PRECISE TIME OF THE REVERSION OF THE FORMER JAPANESE PREFECTURE AND THAT HE WOULD BE "VERY HAPPY" IF IT WAS 1972.

HE EXPRESSED HIMSELF AS "WORRIED" OVER THURSDAY'S U.S. SENATE RESOLUTION ASKING NIXON TO SUBMIT ANY OKINAWA AGREEMENT FOR ITS ADVICE AND CONSENT BUT SAID HE DID NOT BELIEVE IT WOULD CHANGE PREPARATIONS FOR THE TALKS.

(MORE)

1848YY

AP281

TOKYO--SATO-OKINAWA 2 (AP264)

SATO OBSERVED THAT NO ONE KNOWS WHETHER THE VIETNAM WAR WILL LAST TWO OR THREE YEARS MORE. "BUT," HE SAID, "SUPPOSE IT STILL DOES: WE ARE NOT THINKING OF DOING ANYTHING THAT MIGHT WEAKEN SERIOUSLY THE MILITARY ROLE OKINAWA IS PLAYING AT THIS TIME. I DON'T THINK THE UNITED STATES WILL AGREE TO ANY ARRANGEMENT THAT WEAKENS THE MILITARY FUNCTIONS OF OKINAWA."

SOME AMERICAN CRITICS OF OKINAWAN REVERSION SAY THEY FEAR THAT ONCE IT IS BACK IN JAPANESE HANDS IT WILL NO LONGER SERVE AS A BACK-UP FOR AMERICAN SOLDIERS FIGHTING IN VIETNAM.

SATO SAID THAT ONCE THE REVERSION DATE HAS BEEN AGREED TO, DISCUSSIONS CAN TAKE PLACE ON PLACING THE OKINAWAN BASES UNDER THE U.S.-JAPAN SECURITY TREATY AND REMOVAL OF NUCLEAR STOCKPILES STORED ON THE ISLAND.

ASKED WHETHER HE FELT HE COULD RIDE OUT THE POLITICAL STORM IF THE STATUS OF THE NUCLEAR WEAPONS REMAINS "FUZZY" AFTER THE WASHINGTON TALKS, SATO SAID HE HAD NO WORRIES ON THIS SUBJECT. THE FACT OF REVERSION IS MOST IMPORTANT, HE ADDED.

(MORE)

AP282

TOKYO--SATO-OKINAWA 3 (AP281)

NOTING THAT JAPAN HAS A NUCLEAR ALLERGY (A CONSEQUENCE OF THE 1945 ATOMIC BOMBING OF HIROSHIMA AND NAGASAKI), SATO SAID THAT PERHAPS THE JAPANESE PEOPLE WOULD LIKE TO HAVE IT EXPRESSLY STATED IN THE WASHINGTON TALKS THAT THERE WOULD BE NO NUCLEAR WEAPONS ON OKINAWA. BUT IF THAT IS DONE, THE WEAPONS MAY LOSE THEIR DETERRENT POWER, HE SAID.

THE 68-YEAR-OLD CONSERVATIVE LEADER SAID THAT JAPAN DOES NOT NOW HAVE THE ABILITY TO DEFEND ITSELF ADEQUATELY AND SINCE IT IS NOT GOING TO POSSESS NUCLEAR OR OFFENSIVE WEAPONS, IT MUST RELY ON THE U.S. NUCLEAR DETERRENT.

"IT IS NO SHAME FOR US TO DEPEND ON THE NUCLEAR UMBRELLA OF THE UNITED STATES WHICH SHARES THE SAME VIEWS WE DO ON THE PEACE AND PROSPERITY OF THE WORLD," HE SAID.

HE ADDED IT MIGHT BE NECESSARY TO INCREASE JAPAN'S DEFENSE STRENGTH, PARTICULARLY THE AIR AND SEA ARM. BUT HE WAS EMPHATIC IN SAYING THAT HIS ADMINISTRATION HAS NO INTENTION OF REVISING THE "NO WAR" CONSTITUTION WHICH PREVENTS JAPANESE SOLDIERS FROM BEING SENT ABROAD. ONE OF JAPAN'S LEADING INDUSTRIALISTS CREATED A STIR LAST MONTH BY URGING THAT THE CONSTITUTION BE CHANGED TO PERMIT A BIGGER MILITARY BUILD UP.

(MORE)

AP283

TOKYO--SATO-OKINAWA 4 (AP282)

SATO SAID THE QUESTION OF OKINAWA AND THAT OF JAPANESE TRADE LIBERALIZATION WERE NOT LINKED IN THE WASHINGTON TALKS. THE LONG TERM VIEW, HE SAID, IS THAT JAPAN AND THE UNITED STATES MUST COOPERATE WITH EACH OTHER AS "GOOD PARTNERS." THE SENATE RESOLUTION CALLING FOR ITS CONSENT ON AN OKINAWA AGREEMENT WAS FOLLOWED BY SENATORIAL STATEMENTS THAT IT WOULD DRIVE HOME TO THE JAPANESE THE FACT THAT THE TWO ISSUES WERE RELATED.

THE STATE DEPARTMENT --ANXIOUS TO AVOID AROUSING RESENTMENT IN JAPAN BEFORE THE TALKS--HA AID THEY ARE NOT.

ASKED WHAT HE INTENDED TO DO FOLLOWING THE OKINAWA SETTLEMENT ON GETTING RUSSIA TO SURRENDER THE NORTHERN ISLANDS SEIZED AFTER WORLD WAR II, SATO SAID, "I CAN'T THINK OF ANY NEW MEANS OR APPROACH TO SETTLE THIS QUESTION. WE SHALL HAVE TO RESTATE AGAIN AND AGAIN THAT THESE NORTHERN TERRITORIES WERE AN INTEGRAL PART OF JAPAN."

HE SAID HE HAD COME ACROSS AN OLD MAP IN THE DIET LIBRARY WHICH SHOWED THE ISLANDS COLORED DIFFERENTLY FROM RUSSIA AND PROPOSED TO SEND IT TO MOSCOW SINCE IT WAS A RUSSIAN MAP.

RODERI/1953YY

UPI-252

SATO 11/7

BY LEON DANIEL

TOKYO (UPI)--PRIME MINISTER EISAKU SATO SAID FRIDAY HE WILL BE STAKING HIS POLITICAL CAREER WHEN HE SITS DOWN WITH PRESIDENT NIXON ON NOV. 19 TO NEGOTIATE THE RETURN OF OKINAWA TO JAPAN.

SATO TOLD A GROUP OF AMERICAN CORRESPONDENTS AT HIS RESIDENCE THAT HE HAD "GREAT EXPECTATIONS" FOR THE TALKS BUT THE DIFFICULT ISSUES INVOLVED HAVE NOT BEEN SETTLED.

WHEN ASKED WHAT EFFECT THE RESULT OF THE TALKS ON THE REVERSION QUESTION WOULD HAVE ON HIS POLITICAL FUTURE, THE HEAD OF THE RULING, CONSERVATIVE AND PRO-AMERICAN LIBERAL DEMOCRATIC PARTY SAID "I AM STAKING MY POLITICAL FUTURE ON THE NEGOTIATIONS."

THUS DID SATO ACKNOWLEDGE PUBLISHED SPECULATION THAT HIS FAILURE TO SECURE A DATE FOR THE RETURN OF OKINAWA TO JAPAN COULD COST HIM HIS JOB.

REPRESENTATIVES OF THE TWO GOVERNMENTS HAVE BEEN MEETING FREQUENTLY TO DISCUSS THE QUESTION AND THERE HAVE BEEN REPORTS THAT THE MAJOR STUMBLING BLOCK TO SETTLEMENT ARE THE NUCLEAR WEAPONS WEAPONS THE UNITED STATES STORES ON OKINAWA. JAPAN WANTS OKINAWA BACK WITH THE NUCLEAR WEAPONS REMOVED.

"SOME ASK ME IF I REALLY HAVE TO GO TO WASHINGTON," SATO SAID, REFERRING TO REPORTS THAT THE OKINAWA ISSUE WAS VIRTUALLY SETTLED, "BUT NOTHING HAS BEEN SETTLED."

HE INDICATED THAT ONE OF THE PROBLEMS IS THE QUESTION OF THE FUTURE USE OF U.S. BASES ON OKINAWA. THE AMERICAN SIDE WOULD PREFER CONTINUED FREE USE OF ITS BASES AFTER REVERSION. JAPAN WANTS THE BASES TO HAVE THE SAME STATUS AS U.S. BASES IN JAPAN.

(MORE) B503P095Y

UPI-258

SATO 11/7

1ST ADD SATO TOKYO UPI-252 X X X IN JAPAN.

"I THINK THE QUESTION OF THE BASES CAN BE SETTLED TO THE SATISFACTION OF BOTH PARTIES BUT I CAN'T GO INTO THIS ANY FURTHER," SATO SAID.

HE WAS ASKED IF THE UNITED STATES WOULD STILL BE ABLE TO USE ITS AIR BASES TO PROSECUTE THE VIETNAM WAR IF THE WAR IS STILL BEING FOUGHT IN 1972, CONSIDERED THE LIKELIEST DATE FOR THE RETURN OF THE ISLANDS THE JAPANESE LOST IN WORLD WAR II.

"WE ARE NOT THINKING OF ANYTHING THAT WOULD WEAKEN OKINAWA MILITARILY," THE PRIME MINISTER SAID, ADDING THAT HE DID NOT THINK THE UNITED STATES WOULD AGREE TO ANYTHING THAT WOULD SERIOUSLY CHANGE THE STRATEGIC IMPORTANCE OF OKINAWA.

SATO SAID HE DID NOT KNOW WHAT EFFECT THE U.S. SENATE RESOLUTION REQUESTING NIXON TO CONSULT THE SENATE ON THE OKINAWA ISSUEATTTTTTTTTZZ

REQUESTING NIXON TO CONSULT THE SENATE ON THE OKINAWA ISSUE WOULD HAVE ON THE NEGOTIATIONS.

"I AM WORRIED ABOUT IT," HE SAID. "I HOPE WE WON'T HAVE TO CHANGE OUR PREPARATIONS (FOR THE TALKS)."

SATO SAID THE OKINAWA ISSUE HAS NO RELATION TO WHETHER OR NOT JAPAN SIGNS THE NUCLEAR NON-PROLIFERATION TREATY. THE UNITED STATES HAS URGED JAPAN TO SIGN THE PACT AND JAPANESE OPPONENTS OF THE TREATY FEAR A "DEAL" IN WHICH JAPAN WOULD SIGN IN ORDER TO GAIN LEVERAGE IN ITS EFFORTS TO SECURE THE RETURN OF OKINAWA.

BUT SATO SAID THE TWO ISSUES "HAVE NOTHING TO DO WITH EACH OTHER."

"WHETHER TO SIGN THE NUCLEAR NON-PROLIFERATION TREATY REQUIRES VERY CAREFUL STUDY AND WE ARE MAKING THAT STUDY," HE SAID. (UPI)

B534P096Y

UPI-259

SATO 11/7

2ND ADD SATO, TOKYO UPI-252 X X X HE SAID.

SATO DID NOT INDICATE WHETHER HE WOULD ACCEPT OKINAWA WITH THE U.S. NUCLEAR WEAPONS THERE INTACT AND DECLINED EVEN TO ACKNOWLEDGE THEIR EXISTENCE.

"I HAVE SAID THAT IT IS A MILITARY SECRET WHETHER NUCLEAR WEAPONS ARE THERE," HE SAID. "WE MUST KEEP THESE THINGS IN CONFIDENCE FOR THE TIME BEING."

HE INDICATED THAT IF THERE WERE NUCLEAR WEAPONS ON OKINAWA THEIR VALUE AS A DETERRENT TO AGGRESSION WOULD BE LESSENED IF IT WAS LEARNED THEY WERE TO BE REMOVED.

SATO SAID HE HOPES TO GET AGREEMENT ON A PRECISE DATE FOR REVERSION BUT POINTED OUT "THIS MAY DEPEND ON THE PRESIDENT OF THE UNITED STATES.

ASKED IF THE DATE WOULD BE IN 1972, HE SAID "IT IS GENERALLY SAID SO AND I SHOULD BE VERY HAPPY IF IT IS SO."

SATO SAID TRADE MATTERS HAVE NOTHING TO DO WITH THE OKINAWA QUESTION AND HE THOUGHT THEY WOULD BE DISCUSSED SEPARATELY.

HE WAS REPLYING TO A QUESTION ABOUT WHAT, IF ANYTHING, JAPAN MIGHT HAVE TO GIVE IN THE AREA OF TRADE DISPUTES IN ORDER TO SECURE THE RETURN OF OKINAWA.

SATO SAID HE DID NOT THINK THE THREE-DAY TALKS "WILL TAKE THAT FORM." -- (UPI)

B539P